

学校教育目標

自分大好き 友達大好き 学び大好き 竹枝大好き  
 ゴールに向かってトライする 竹枝笑楽校の子ども

「自分大好き」

「自分のよさを伸ばそうとする子」

成果1

<b>(児童)</b>		
□項目1 規則正しい生活	87.5%	(13.6%↑)
□項目2 朝食	100%	(±0)
<b>(保護者)</b>		
□項目1 規則正しい生活	91.7%	(4%↓) ※高い水準はキープ
□項目2 朝食	100%	(±0)
<b>(教職員)</b>		
□項目16 生活習慣の家庭との連携	100%	(.4%↑)

☆保護者との連携により食に関する基礎的生活習慣づくりは定着

「互いのよさを認め高め合う子」

成果4

<b>(児童)</b>		
□項目6 協力して取り組むことがうれしい	91.7%	(※4%↓) ※高い水準はキープ
□項目7 相手のことも考え行動する	91.7%	(4.7%↑)
□項目8 困っている人を助ける	91.7%	(17.8%↑)
□項目9 学校に行くのが楽しい	91.7%	(※4%↓) ※高い水準はキープ
<b>(保護者)</b>		
□項目11 学校に行くのが楽しい	100%	(4.7%↑)
□項目14 思いやりの心の育ち	95.8%	(0.2%↑)
<b>(教職員)</b>		
□項目1 組織的な取組	100%	(±0)
□項目11 道徳教育の充実	92.3%	(7.7%↑)

☆「道徳科」を要とした組織的な取組により、互いの人権を尊重した人と関わる力の醸成や、他者理解の促進

成果2

<b>(児童)</b>		
□項目5 よい所がある	87.5%	(4.9%↑)
<b>(保護者)</b>		
□項目5 年齢に応じた役割	91.7%	(4%↓) ※高い水準はキープ
<b>(教職員)</b>		
□項目23 豊かな体験・人とのふれあい	92.3%	(7.7%↑)

☆個や集団の実態に応じた指導や家庭との連携による自己肯定感の醸成

「ゴールに向かってトライする竹枝笑楽校」

<b>(児童)</b>		<b>(保護者)</b>		<b>(教職員)</b>	
□項目4 あきらめない	87.5% (9.2%↑)	□項目25 充実した楽しい学校生活	100% (±0)	□項目7 信頼関係づくり	100% (±0)
□項目22 目標を持ち取り組む	100% (8.7%↑)	□項目32 学校は悩みや相談に対応	91.7% (±0)	□項目26 施設設備・安全配慮	100% (0.4%↑)
□項目26 学校は困った時の相談に対応	100% (0.4%↑)				

★「自分の目標をもち、諦めずに挑戦しようとする子どもの増加。基盤となる安心・安全な学校生活を支える物的環境整備や児童との信頼関係構築、集団作りによる安心できる人的環境づくりの推進→児童の前向きな活動状況へのつながり」

「学び大好き」

「自ら考え、主体的に学ぶ子」

成果3

<b>(児童)</b>		
□項目11 ICT活用による表現	87.5%	(13.6%↑)
□項目12 情報収集→整理→発表	100%	(26.1%↑)
<b>(教職員)</b>		
□項目3 質問紙調査結果を活用した授業	92.3%	(15.4%↑)
□項目4 思考表の育成のための工夫	100%	(7.7%↑)
□項目5 学び合いや話し合い活動	100%	(4.7%↑)

☆「ICT機器の効果的活用、育成すべき資質・能力とねらいを明確にした授業の実施による学習指導の充実による学習への意欲向上。」

「竹枝大好き」

「地域のよさを知り発信しようとする子」

成果5

<b>(児童)</b>		
□項目13 地域の方との関わりで将来・生き方を考える	87.5%	(35.3%↑)
□項目20 地域や市の歴史・自然への関心	91.7%	(31.7%↑)
<b>(保護者)</b>		
□項目20 学校・地域の体験活動による総合的な学力の伸び	87.5%	(22.3%↑)
<b>(教職員)</b>		
□項目13 家庭や地域と協働した取組	92.3%	(15.4%↑)

☆地域・家庭との連携を重視した計画的な体験活動が児童の地域・自然への関心を高め及び保護者の肯定的な捉え（回答）。

## 「自分大好き」

### 「自分のよさを伸ばそうとする子」

<b>(児童)</b>		
□項目24	進んで読書活動	70.8% (R4より↑)
□項目25	メディアコントロール	66.7% (R4より↓)
<b>(保護者)</b>		
□項目24	家庭で一緒に読書	50.0% (R4より↑)
□項目10	メディアに関する約束	79.2% (R4より↑)
<b>(教職員)</b>		
□項目9	自ら判断し、責任ある行動	53.8% (±0)

☆「R4よりもポイントは微増している項目もあるが、児童の読書活動のポイントが3年連続で他項目と比較して低い。また、家庭における読書活動の推進に係るポイントも50%と低い。また、メディアコントロールに関する項目が児童・保護者共に低く、ICT活用を進めていく上でも改善が必要。自ら考え、判断し、行動できる力の育成が必要。

## 「学び大好き」

### 「自ら考え、主体的に学ぶ子」

<b>(児童)</b>		
□項目10	授業は分かりやすく楽しい	83.3% (R4より↓)
□項目18	家で苦手の勉強をしている	79.2% (R4より↑)
□項目19	家で自分で計画を立てて勉強している	66.7% (R4より↑)
□項目21	不思議・どうしてと思うこと進んで調べる	62.5% (R4より↑)
□項目23	友達の意見と自分の意見を比べて考え表現	75.0% (R4より↑)
<b>(保護者)</b>		
□項目4	計画的な学習の促し	83.3% (R4より↑)

☆「R4よりもポイントは上がっているが、自分から進んで学び、探求しようとすることや計画を立てて学びを調節していこうとする状況は他項目に比べるとポイントは低い。R3年度以降の課題となっている。特に家庭での学習を連携によりさらに充実していくことに関して課題が散見。

### 課題改善の視点

自ら思考・判断・行動

学びの主体者となりうる学習の充実

探求的な学習の充実

メディア・学習に係る家庭との連携

多様な表現力

自己の学びを調節する力の育成

## 【成果】

### ○目標をもって前向きに学校生活を楽しく過ごしている児童 向上心

児童は学校生活を楽しみ、自分の目標に向かって前向きに学習や行事に取り組んでいる。

保護者も児童が前向きに学校生活を送っていることを実感している。

教職員は組織的対応や信頼関係づくり、学級集団づくり等の人的環境整備及び学習指導の充実により、児童が目標に向かって前向きに学校生活を送る姿につながっていると考えている。

### ○基本的な生活習慣の定着

家庭の協力を得て、基本的な生活習慣や食生活の定着につながっている。

### ○自己を肯定的に捉え、他者を大切にしようとする児童の育ち 人権尊重の精神

道徳教育の充実や学級集団づくり、授業の中で人と関わる力を発揮しながら学ぶ場面を設定することで、自己のよさ、他者のよさへの気付きが「人を大切にする」心情の醸成につながっていると考える。

### ○地域のよさを知り、発信しようとする児童の育ち 表現力

地域と連携した学習や体験活動から、児童の地域への興味や関心を高めることができた。

今後も調べたことを整理して情報発信する取組を進めていきたい。

保護者は、学校や地域の行う体験活動から、児童の総合的な学力の伸びを感じている。

## 【課題】

### ○自ら主体的に考え、探求していく児童の育成 向上心・活用力

総合的な学習の時間を中心に、児童にとって学ぶ必然性のある「地域を題材とした単元」を工夫することにより、探求的な活動の充実を目指したい。

個別最適な学習により「できた」「分かった」の成功体験を積めるようにしたい。

家庭学習の工夫（1人1台端末を家庭学習で活用する機会を増やす等）と併せて、メディアコントロール・親子読書等について保護者と連携して引き続き取り組みたい。

### ○人と関わる力を発揮しながら学んだことを多様に表現していく児童の育成

多様な「考え方」「価値観」に触れることができる協働的な学びを進めたい。そのために、地域の人材に授業に参加していただく機会を増やしたい。相手意識をもち言語活動を充実させ、自分の得意な方法で相手に伝える表現力も培えるのではないかと考える。

社会性・表現力